



枝川小だより

「やればできる」を自信に
みんなが笑顔で
まわりの人には感謝を！

「敬老会」で合唱を披露しました

9月8日(日)の午前中、枝川転作推進センターを会場に枝川自治会主催「敬老会」が行われ、本校1~3年生の児童が余興の中で合唱を披露しました。敬老会は5年ぶりの開催で、今回より対象が80歳以上となり、当日枝川地区では41名の皆様が元気に参加されました。

余興では①「校歌」(2番まで)、②「虫のこえ」、③「幸せなら手をたたこう」の3曲を歌い、皆様からも大きな拍手をいただきました。



第2回学校運営協議会及び学校関係者評価委員会を行いました

8月21日(水)の午後、多目的室で行いました。夏季休業中の機会を捉え、運営協議会委員7名と本校の全教職員が参加して3つの小グループをつくり、「ミニ熟議」というかたちで話し合うグループワークを実施しました。今回の「ミニ熟議」は、7月に開催された市コミュニティ・スクール研修会で、講師の先生より提案された「KPT法」という取組です。KPTとは、「Keep」続けること・よいこと「Problem」問題点「Try」試すこと・工夫したいことで、テーマを「今後の枝川小学校に向けて、学校の特色をどうつくり出すか」としました。各グループでの話し合いから主な意見を紹介します。

「Keep」では、「一人一人に役割がある活動が盛りだくさんである」「全校での行事が多く、上級生がよい手本を示している」、「小集団なので、小回りがきき、全校での動きがとりやすい」「一人一人の小さな変化に子供同士も教職員も気づきやすく、早期に対応することができる」「農業(栽培)体験が各学年とも充実している」などです。

「Problem」では、「大人数で同学年の子供同士がかかわる機会が少ない」「一人の子供に対してかかわる大人が多くなるため、家でも学校でも自分でやらずに大人にいろいろなことをやってもらうことになりがちではないか」などです。

「Try」では、「二中学区の小学校との交流をさらに深めていく(体験や各教科の授業等)」「枝川小と同じくらいの規模の学校とリモートで交流を行う」「農業体験で収穫したものを子供たち自身がプロデュースして販売する」「企業とタイアップして何かオリジナルなものをつくり上げる」などです。

ミニ熟議の終了後、各グループから話し合いで出された意見等を全体で紹介し合いました。今回の話し合いを今後の枝川小学校のために生かしていきたいと考えています。



「全国学力・学習状況調査」の結果について

4月18日(木)に実施した「全国学力・学習状況調査」(小6・中3対象)の結果が、7月30日(火)に文部科学省から公表されました。

本校の6年生は、国語科・算数科とも、全国平均・県平均正答率を大きく上回りました。

なお、国語科では「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られました。

今後は、校内研修等で結果の詳細な分析や対応策の検討をしていく予定で、課題となった内容については、学習指導で補充と深化を図ってまいります。

茨城県全体の結果概要等は、下記をご覧ください。

<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/wp-content/uploads/2024/08/result.pdf>

